

2026年度 小学3年 学習指導計画

担任 渡部重信 武本七奈

学期	単元	学習・指導内容
1 学 期	よく聞いて、じこしょうかい	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。
	どきん	擬態語に注目し、リズムを楽しみながら音読する。
	私のさいこうの一日	相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にする。
	春風をたどって	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにするとともに、登場人物の行動や気持ちなどを文章の内容を叙述に基づいて正確に理解し、作者の主張や意図を把握する。
	図書館たんていだん	図書館の本の分類を理解する。
	国語辞典を使おう	国語辞典の使い方を理解する。
	漢字の広場 1	第二学年までに習っている漢字の読み方、書き方を確認し、文や文章の中で使う。
	春のくらし	教科書に載っている春に関する言葉や絵から知っていることを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。
	もっと知りたい、友だちのこと	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉える。
	きちんと伝えるために	目的を意識して、伝え合うために必要な事柄を理解する。
	漢字の音と訓	漢字の音と訓の特徴を理解し、漢字に親しむ。
	漢字の広場 2	提示された漢字と接続語を使って文を作る。
	文様	様々な文様にこめられているねがいについて学習する。
	こまを楽しむ	段落の役割について理解し、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉える。
	全体と中心	目的を意識して、中心となる語や文を見つける
	気持ちをこめて、「来てくださ	日時、場所、行事の説明、気持ちなど、行事を案内するときに何を書くときよいかを考え、敬体と常体との違いに注意しながら案内の手紙を書く。
漢字の広場 3	提示された漢字と時を表す言葉を使って文を作る。	
2 学 期	まいごのかぎ	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像しながら読む。
	俳句を楽しもう	易しい文語調の俳句を音読し、言葉の響きやリズムに親しむ。
	こそあど言葉を使いこなそう	指示語の働きについて学習する。
	引用するとき	情報を集め、引用の決まりを理解する。
	仕事のくふう、見つけたよ	調べたいことを決めて、調査を行い、組み立てを考えて、報告する文章を書く。
	夏のくらし	教科書に載っている夏に関する言葉や絵から知っていることを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。
	本で知ったことをクイズにしよう	図鑑や科学読み物に親しみ、読書によって得た知識や情報を共有する。
	鳥になったきょうりゅうの話	読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。
	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	連と連の関係を考えながら二つの詩を読み、気づいたことや考えたことを話し合う。

2026年度 小学3年 学習指導計画

担任 渡部重信 武本七奈

	こんな係がクラスに欲しい	目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる。
	ポスターを読もう	ポスターが作られた目的や知らせたい相手を考えて、共通点や相違点について話し合う。
	漢字の組み立て	漢字のへん、つくりなどの構成についての知識を持つ。
	ローマ字	ローマ字の書き方やきまりを知る。
3 学 期	ちいちゃんのかげおくり	文章を読んで理解したことに基づき、感想や考えを持つことができる。
	修飾語を使って書こう	主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係について理解する。
	秋のくらし	教科書に載っている秋に関する言葉や絵から知っていることを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。
	おすすめの一さつを決めよう	話し合いの中で、互いの意見の共通点、相違点について考えを整理する。
	すがたをかえる大豆	全体の組み立てや、段落ごとの中心になる言葉をとらえながら注意して読み、説明の仕方の工夫を読み取る。
	食べ物のひみつ教えます	「始め」「中」「終わり」の構成を考え、例を挙げ食材について説明する文を書く。
	ことわざ・故事成語	長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使い、自分たちのことわざ辞典を作る。
	漢字の意味	漢字と仮名を用いた表記を理解して、文や文章の中で使う。
	短歌を楽しもう	易しい文語調の短歌を音読し、言葉の響きやリズムに親しむ。
	漢字の広場4	第二学年までに習っている漢字を書き、文や文章の中で使う。
	三年とうげ	登場人物の気持ちの変化や情景を想像しながら読み、民話の面白さを味わう。
4 学 期	わたしの町のよいところ	紹介文を書く時の組み立てについて学び、自分たちで書いた文章を読み合い、感想や意見を伝え合う。
	冬のくらし	教科書に載っている冬に関する言葉や絵から知っていることを発表したり、連想する言葉を出し合ったりする。
	詩のくふうを楽しもう	文章全体の構成や内容を意識しながら音読する。
	四まいの絵を使って	書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。
	カンジーはかせの音訓かるた	第3学年までに配当されている漢字を読み、漢字の音訓を使った歌を作る。
	漢字の広場5	第二学年までに習っている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
	ありの行列	科学読み物について「問い」から「答え」までの筆者の考えの進め方を段落のつながりに気をつけて読み取る。
	つたわる言葉で表そう	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。
	たから島のぼうけん	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作する。
	お気に入りの場所、教えます	自分の考えとそれを支える理由を明確にし、紹介する文章を書き、発表する。友達の発表を聞いて、感想や意見を伝える。
	モチモチの木	登場人物の会話や行動に着目し、人柄や気持ちの変化を捉えて読むことができる。
	漢字の広場6	第二学年までに習っている漢字を書き、文や文章の中で使う。
	三年生をふり返って	三年生での学習で自分が身につけたと思う言葉の力を書き、友達と伝え合う。

*授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。